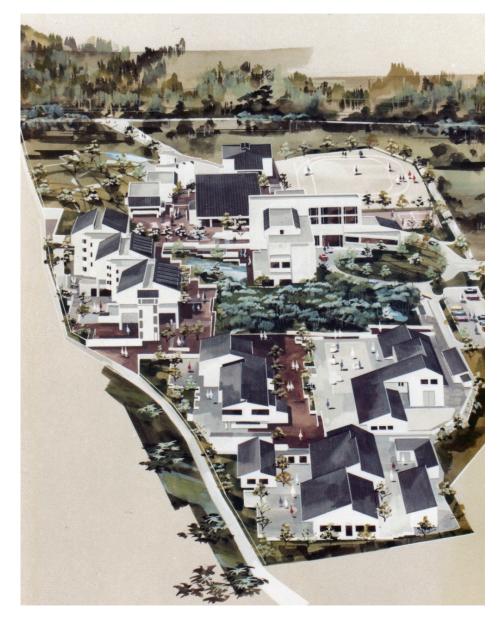
静謐なモダン 沓掛キャンパスの設計者 富家宏泰の人と作品

2023年7月19日(水) 18:00-

定 員:40名 (左記の URL よりお申し込みください)

会場:京都市立芸術大学芸術資源研究センター





今「沓掛から崇仁へ」まさに移転するタイミングです。同じように去る昭和55(1980)年に、美術は東山智積院隣地より、音楽は左京岡崎より統合移転を果たしましたが、その際のキャンパスプランを含めた校舎設計のすべて(のちに追加された大学会館と新研究棟を除く)を手掛けたのが富家宏泰(1919-2007)とその建築事務所スタッフでした。

講 師:富家 大器 __ Taiki TOMIIE

新日本デザイン研究所代表、神明舎オーナー、環境デザイナー、総合デザインプロデューサー。大阪芸術大学 (環境デザイン) 卒業、京都市立芸術大学大学院美術研究家 (環境デザイン) 修了。GK 京都勤務を経てフリーランスののち四天王寺大学准教授、京都美術工芸大学特任准教授を歴任。京都府景観アドバイザー。建築家・富家宏泰 (とみいえひろやす) の作品研究及び図面資料等のアーカイブ化を進めている。



問い合わせ先/芸術資源研究センター/ WEBSITE:https://www.kcua.ac.jp/arc/MAIL:arc@kcua.ac.jp